

2020年9月29日

サステナビリティボンド・フレームワーク策定に関するお知らせ

独立行政法人水資源機構（本社：埼玉県さいたま市中央区）は、本日、株式会社格付投資情報センター（R&I、東京都千代田区）からサステナビリティボンド・フレームワークに関する第三者評価として、「セカンドオピニオン」を取得しました。

「サステナビリティボンド」とは、社会・環境課題の解決に向けたプロジェクトに充当することを目的とした資金調達手段です。

当機構は、これまでも債券発行により調達した資金をダム及び用水路などの建設事業等に充当することで、水資源開発施設の新築及び改築を行い、当該施設の操作、維持、修繕、その他の管理を行うことで、「安全で良質な水の安定した供給」、「洪水被害の防止・軽減」等、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献し、社会・環境課題の解決に向け取り組んでまいりました。

今回、当機構は、国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）のサステナビリティボンド・ガイドラインが言及するソーシャルボンド原則及びグリーンボンド原則に定められている4つの核となる要素（「調達資金の用途」、「プロジェクトの評価と選定のプロセス」、「調達資金の管理」、「レポートニング」）等の方針を記載したサステナビリティボンド・フレームワークを策定しました。本フレームワークについて、第三者評価機関であるR&Iより、サステナビリティボンド・ガイドライン等の原則に適合している旨の「セカンドオピニオン」を取得しました。これにより、今後、当機構が本フレームワークで発行する水資源債券は、サステナビリティボンドとして扱われることとなります。また、本件に係る第三者評価の取得については、環境省の「適応プロジェクト等のグリーンプロジェクトの活性化に向けたグリーンボンド・グリーンローン等の発行促進体制整備支援事業」の補助金交付対象となっております。

当機構は本件を通じて、より多くの方々に機構事業の取り組みについて理解を深めていただき、サステナビリティボンドにより調達した資金を活用し、気候変動による渇水の頻発化や豪雨の更なる激甚化等の課題を解決すべく治水・利水事業を通じた社会貢献活動に努めてまいります。

本フレームワークの概要とセカンドオピニオンについては以下リンクをご参照ください。

当機構のサステナビリティボンド・フレームワークの概要

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/zaimu/sustainability/index.html>

R&I サステナビリティボンド・フレームワークに関するセカンドオピニオン

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

(参考)

フレームワークの概要

当機構が直面し、解決すべき主要な環境・社会的課題	対象プロジェクト	プロジェクトの概要
渇水の頻発化への対応	治水・利水事業	用水路(水道用水、農業用水、工業用水)の建設管理 <ul style="list-style-type: none">● 水道用水、農業用水及び工業用水を確保・補給、導水及び分水 ダムの建設、管理 <ul style="list-style-type: none">● 水の貯留及び渇水状況に応じた水の供給
水質の保全		水質の管理(水質調査や巡視、各種水質改善方法の実施等) <ul style="list-style-type: none">● 水質状況の把握● 水質保全対策の実施● 水質悪化発生時の対応
洪水調節機能等による自然災害への対応		ダムの建設、管理 <ul style="list-style-type: none">● 洪水調節等による洪水被害の軽減● 河川の流水の正常な機能の維持等(既得用水の安定取水、動植物の保護、流水の清潔の保持、舟運、塩害の防止等)● 水道用水、農業用水及び工業用水の確保・補給

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人水資源機構 財務部 資金課 (電話) 048-600-6532